


ソフトウェア品質保証責任者の会 Re-born

活動報告

2018/3/31

西田尚弘




SIGの名称・目的・目標

- ▶ SIG名称

- ▶ ソフトウェア品質保証責任者の会 Re-born

- ▶ 当SIGの目的

- ▶ 関西で活動するソフトウェア品質に関わる人々の交流の場の提供
- ▶ 情報交流、技術交流することで互いのソフトウェア品質保証に関するスキルを高める



SIGの活動

- ▶ 2分科会に分かれ、2017年5月より活動を開始しました。分科会活動は、下記です。
 - ▶ メトリクス研究：
テーマ： メトリクスの形骸化について
成果物： メトリクス日めくり～メトリクスが形骸化する、その前に～
 - ▶ プロセス研究：
テーマ： 重たくないプロセス管理

SIGの活動

- 2回の臨時会を含めて、下記の日程で開催しました。

回	年月日	内容	備考
1	2017年5月19日	活動内容決め	キックオフ
2	2017年7月21日	分科会に分かれての活動	
3	2017年9月22日	分科会に分かれての活動	
臨時会	2017年10月22日	分科会に分かれての活動	
4	2017年11月24日	分科会に分かれての活動	
5	2018年1月19日	勉強会（セミナー）	
臨時会	2018年2月16日	分科会に分かれての活動	
6	2018年3月16日	分科会に分かれての活動 と報告会	

成果と今後に向けて

- ▶ 2分科会に分かれてテーマに沿って1年間活動してきました。
 - ▶ メトリクス研究：
 - ▶ テーマ：メトリクスを形骸化させるものについて
 - ▶ 活動内容：メトリクスを形骸化させる原因や事柄について議論を行った。
 - ▶ 成果物：メトリクスを活用のヒントを日めくりカレンダーにした。
「メトリクス日めくり」
 - ▶ プロセス研究：
 - ▶ テーマ：重たくないプロセス管理
 - ▶ 活動内容：プロセスのテーラリングの方法について議論をしていった。
 - ▶ 活動結果：テーラリング方法だけでは何かが違うという事が明らかになり、方向の変更。18年度は、支援プロセスに絞り開発担当者に喜ばれる内容を中心に検討する予定。
- ▶ 来年度について
 - ▶ 17年度行ってきました研究を継続させていきます。
 - ▶ メトリクス研究：
 - ▶ テーマ：メトリクス日めくりの充実化
 - ▶ プロセス研究：
 - ▶ テーマ：支援プロセスに絞り、開発担当者に喜ばれる内容を検討